

## 次期「県立高等学校活性化計画(仮称)」新旧対照表(案)

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
1	3 県立高等学校活性化の基本的な考え方 (6頁)	(2)これからの社会の担い手となる力の育成 ○ 自他の生命を尊重する心や思いやりの心、規範意識などを身につけ、他者とともによりよく生きようとする態度を育成する。	(2)これからの社会の担い手となる力の育成 ○ 自他の生命を尊重する心や思いやりの心、規範意識などを身につけ、他者とともによりよく生きようとする態度を育むとともに、一人ひとりが大切にされる社会の実現に向けて行動する力を育成する。	パブコメ25  推進会議意見2
2	4(1) 自律した学習者を育てる学びの推進 (7頁)	①基礎・基本を重視し自己肯定感を高める教育の推進 ○ 教育活動全体を通じて、 <u>生徒が自分で考え選択・判断し挑戦することができる環境を充実する。</u>	①基礎・基本を重視し自己肯定感を高める教育の推進 ○ 教育活動全体を通じて、 <u>子どもたち一人ひとりが自分のよさや可能性を認識できるようにするとともに、自分で考え、選択・判断し、挑戦する力を育む。</u>	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
3	4(1) 自律した学習者を育てる学びの推進 (7頁)	②キャリア教育の推進 ○ 社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むため、各学校において策定された <u>キャリア教育プログラムに基づく教育活動全体をと</u> おした体系的なキャリア教育を推進する。	②キャリア教育の推進 ○ 社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育むため、各学校において策定された <u>キャリア教育プログラムに基づいて、体系的なキャリア教育を教育活動全体を通じて</u> 推進する。	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
4	4(1) 自律した学習者を育てる学びの推進 (8頁)	②キャリア教育の推進 ○ 生徒が自己の将来とつながりを見通しながら職業意識を身につけ主体的に自らのキャリア形成ができるよう、 <u>インターンシップやデュアルシステム、地域の企業からの協力によるオンラインでの企業見学、地域で活躍する職業人との交流等、さまざまな産業への関心を高め理解を深める実社会とつながった</u> 学びを推進する。	②キャリア教育の推進 ○ 生徒が自己の将来とつながりを見通しながら職業意識を身につけ主体的に自らのキャリア形成ができるよう、 <u>インターンシップやデュアルシステム、オンラインでの企業見学、地域で活躍する職業人との交流等、地域の企業からの協力を得ながら、さまざまな産業への関心を高め理解を深める実社会とつながった</u> 学びを推進する。	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
5	4(1) 自律した学習者を育てる学びの推進 (9頁)	⑥ICTの活用による学びの推進 ○ <u>学校単独で設置することが難しい学科やコース、教科・科目の受講や学校の枠を越えた交流等、新たな教育機会を創出できるよう、遠隔授業を推進する。</u>	⑥ICTの活用による学びの推進 ○ <u>自校に開設されていない学科・コースの授業や教科・科目の受講、学校の枠を越えた交流等、新たな教育機会を創出できるよう、遠隔授業を推進する。</u>	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
6	4(2) これからの社会の担い手となる力の育成 (10頁)	①よりよく生きようとする態度の育成 ○ <u>各学校が作成する道徳教育全体計画に基づく道徳教育の推進を通じて、相手を思いやる心や個性を認め合う態度を養うとともに、公共心、規範意識、自尊感情を高め、よりよく生きようとする意欲と実践力を育成する。</u>	①よりよく生きようとする態度の育成 ○ <u>生徒に相手を思いやる心や個性を認め合う態度を養うとともに、公共心、規範意識、自尊感情を高め、よりよく生きようとする意欲と実践力を育成するため、すべての学校で道徳教育全体計画に基づく道徳教育を推進する。</u>	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
7	4(2) これからの社会の担い手となる力の育成 (11頁)	②社会の一員としての自覚と責任感の育成 ○ <u>生徒が学校生活において、校内のルールや学校行事、部活動の運営等を自分たちで考え、決定・運営し、改善していく過程を体験できるよう、生徒会活動の活性化を図り、生徒による主体的な自治活動を推進する。</u>	②社会の一員としての自覚と責任感の育成 ○ <u>生徒が学校生活において、校内のルールや学校行事、部活動の運営等を自分たちで考え、決定・運営し、改善していく過程を体験することで、主体的に考え、行動する力を身につけられるよう、生徒会活動を中心とした生徒による主体的な自治活動を推進する。</u>	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
8	4(2) これからの社会の担い手となる力の育成 (11頁)		注釈 18 <u>「公共」:令和4年度から公民科の中に新たに設置される科目。法や規範、消費者の権利と責任、雇用と労働問題、社会保障制度の意義、市場経済の機能、経済のグローバル化等について学習する。</u>	パブコメ 46

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
9	4(2) これからの 社会の担い 手となる力 の育成 (11頁)	②社会の一員としての自覚と 責任感の育成 ○ <u>インターネット上の情報の 信頼性や信憑性を判断する 力、インターネットを安全に 利用するためのルールやマ ナー等を身につけることに加 え、デジタル化が進む社会に おいてICTを活用しながら、 社会に関わり参画していくた めの能力や態度を育む教育 を推進する。</u>	②社会の一員としての自覚と 責任感の育成 ○ <u>インターネットをはじめとす るさまざまな媒体の情報の信 頼性や信憑性を吟味し判断 する力、インターネットを安全 に利用するためのルールや マナー等を身につけること に加え、デジタル化が進む社会 においてICTを活用しながら、 社会に関わり参画していく ための能力や態度を育む 教育を推進する。</u>	パブコメ47
10	4(2) これからの 社会の担い 手となる力 の育成 (11頁)	③グローバル教育の推進 ○ <u>自ら考え判断し行動する 力、他者とともに成長しなが ら新しい社会を創造する力、 外国語で積極的にコミュニケ ーションを図る語学力を育む ため、<u>海外留学や海外インタ ーンシップ等を通じた英語に よるディスカッションやディ ベートを行う機会の創出等の 取組を推進する。</u></u>	③グローバル教育の推進 ○ <u>自ら考え判断し行動する 力、他者とともに成長しなが ら新しい社会を創造する力、 外国語で積極的にコミュニケ ーションを図る語学力を育む ため、<u>海外留学や海外インタ ーンシップ等を促進するとと もに、英語によるディスカッ ションやディベート等を行う 機会の創出に取り組む。</u></u>	記述内容の精査 (より適切な表現へ の修正)
11	4(3) 誰一人取り 残さない教 育の推進 (13頁)	③日本語指導が必要な生徒へ の支援 ○ <u>日本語指導が必要な外国 人生徒が<u>社会とつながりなが ら、目的をもって学び続けら れるよう、地域で活躍する外 国人の先輩との交流活動や 外国人生徒を対象とした日 本の雇用制度や進学情報の セミナー、個々の生徒の状況 に応じた求人開拓等の進路 支援を実施する。</u></u>	③日本語指導が必要な生徒へ の支援 ○ <u>日本語指導が必要な外国 人生徒が<u>日本での就職や進 学について正しく理解し、目 的をもって学び続け、社会に つながっていけるよう、地域 で活躍する外国人の先輩と の交流、日本の雇用制度や 進学情報のセミナー、個々の 生徒の状況に応じた求人開 拓等の進路支援を実施す る。</u></u>	記述内容の精査 (より適切な表現へ の修正)

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
12	4(3) 誰一人取り残さない教育の推進 (13頁)	⑤学びに向かう力を育む教育の推進 ○ 生徒一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感し、学びへの自信を持つことができるよう、授業のユニバーサルデザイン化や個々に応じたICT活用の学習等に取り組むとともに、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図ることをめざした学校設定科目の開設等、柔軟な教育課程の編成を推進する。	⑤学びに向かう力を育む教育の推進 ○ 生徒一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を実感し、学びへの自信を持つことができるよう、授業のユニバーサルデザイン化やICTの活用による個々に応じた学習等に取り組むとともに、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図ることをめざした学校設定科目の開設等、柔軟な教育課程の編成を推進する。	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)
13	4(3) 誰一人取り残さない教育の推進 (13頁)		⑥交通が不便な地域における生徒の学習機会の提供 ○ <u>それぞれの地域における高等学校全体の学びと配置のあり方についての検討にあたり、交通が不便な地域における学びの機会の提供方策もあわせて検討する。</u>	パブコメ 52  県議会意見 1
14	4(5) 子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善(15頁)	①教職員の育成 ○ 教職員が日々の生活の質や人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高め、より効果的な教育活動を継続できるよう、教職員の業務の負担軽減を図る。	①教職員の育成 ○ 教職員が日々の生活の質や人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高め、より効果的な教育活動を継続できるよう、教職員の業務の負担軽減を図るなど働き方改革を進める。	推進会議意見8
15	4(5) 子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善 (15頁)	③組織運営体制の強化による教育活動の活性化 ○ <u>各校が育成をめざす生徒の資質・能力を学校の内外に具体的にわかりやすく示したうえで、学校全体の教育活動の組織的・計画的な改善につなげるよう、各高等学校に期待される社会的役割やめざすべき学校像等をスクール・ミッションとして再定義するとともに、各学校が、教育活動の指針としてスクール・ポリシーを策定・公表する。</u>	③組織運営体制の強化による教育活動の活性化 ○ <u>各学校においては、学校に期待される社会的役割やめざすべき学校像であるスクール・ミッションをふまえ、育成をめざす生徒の資質・能力、教育課程の編成及び実施、入学者受け入れに関する方針をスクール・ポリシーとして策定し、公表する。</u>	記述内容の精査 (より適切な表現への修正)

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
16	4(5) 子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善 (15頁)	注釈 29 スクール・ミッション:各高等学校が育成をめざす資質・能力を明確にするために、 <u>学校設置者が、各学校に期待されている社会的役割やめざすべき学校像等を再定義するもの。</u>	注釈29 スクール・ミッション: <u>在籍する生徒の状況や意向、期待に加え、各学校の歴史や伝統、現在の社会や地域の実情をふまえ、20年後、30年後の社会像・地域像を見据えた教育理念を示すもの。</u>	記述内容の精査(より適切な表現への修正)
17	4(5) 子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善 (15頁)	注釈 30 スクール・ポリシー:スクール・ミッションを受け、各高等学校等が課程・ <u>大学科ごとに策定する教育活動の指針のことで、育成をめざす資質・能力に関する方針、教育課程の編成および実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の3つとされる。</u>	注釈 30 スクール・ポリシー:スクール・ミッションを受け、各高等学校等が課程・ <u>学科ごとに策定することを基本とする教育活動の指針のこと。</u>	記述内容の精査(より適切な表現への修正)
18	4(5) 子どもたちに必要な学びの実現に向けた教職員の資質向上と学校経営改善 (16頁)	③組織運営体制の強化による教育活動の活性化 ○ 校長のリーダーシップのもと、全教職員がスクール・ミッション、スクール・ポリシーを共有し、 <u>全教職員がその実現に向けて学校の組織的な運営の改善や指導力の向上に継続的に取り組む。</u>	③組織運営体制の強化による教育活動の活性化 ○ 校長のリーダーシップのもと、全教職員がスクール・ミッション、スクール・ポリシーを共有し、 <u>その実現に向けて学校の組織的な運営の改善や指導力の向上に継続的に取り組む。</u>	記述内容の精査(より適切な表現への修正)
19	4(6) これからの時代に必要な力を育む 県立高等学校の各学科・課程の活性化 (16頁)	①普通科・普通科系専門学科 ○ 大学等高等教育機関への進学希望者が多い学校では、SDGs等をテーマとした課題解決型学習や海外の高校生との意見交流、大学の研究室での活動等を実施するとともに、必要に応じて専門性のある研究者や企業人の協力も得ながら探究に取り組む、 <u>高い目標に向かって挑戦し学び続ける意欲を育む。</u>	①普通科・普通科系専門学科 ○ 大学等高等教育機関への進学希望者が多い学校では、SDGs等をテーマとした課題解決型学習や海外の高校生との意見交流、大学の研究室での活動等を実施するとともに、必要に応じて専門性のある研究者や企業人の協力も得ながら探究に取り組む、 <u>自ら掲げた目標に向かって挑戦し学び続ける意欲を育む。</u>	パブコメ 68

番号	箇所	(旧)パブリックコメント版	(新)最終案素案	備考
20	4(6) これからの時代に必要な力を育む県立高等学校の各学科・課程の活性化 (17頁)	②職業系専門学科 ○ <u>将来のスペシャリストや地域産業を担う人材を育成するため、学校や学科の枠を越えた6次産業化の取組等、より実際の現場につながった学びを通じて、チャレンジ精神や起業家精神の醸成を図る。</u>	②職業系専門学科 ○ <u>学校や学科の枠を越えた6次産業化の取組等、より実際の現場につながった学びを進めるとともに、チャレンジ精神や起業家精神の醸成を図り、将来のスペシャリストや地域産業を担う人材を育成する。</u>	記述内容の精査(より適切な表現への修正)
21	4(6) これからの時代に必要な力を育む県立高等学校の各学科・課程の活性化 (17頁)	②職業系専門学科 ○ <u>社会全体のデジタルトランスフォーメーションの必要性が高まる中、それぞれの職業分野で必要となるAIやデータ分析等に関する知識・技術の習得を図るとともに、社会や産業界を題材とした学習の中で、習得した知識・技術を実践的に活用する<u>学習の機会</u>を設ける。</u>	②職業系専門学科 ○ <u>社会全体のデジタルトランスフォーメーションの必要性が高まる中、それぞれの職業分野で必要となるAIやデータ分析等に関する知識・技術を身につける<u>学習を一層進めるとともに、社会や産業界を題材とした学習の中で、習得した知識・技術を実践的に活用する機会</u>を設ける。</u>	記述内容の精査(より適切な表現への修正)
22	5 これからの時代に求められる学びを提供できる県立高等学校のあり方 (19頁)	○ <u>こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めることとし、その際、状況に応じて、平成29年度から取り組んできた地域と連携した学びや学校独自の学びについての継承、交通が不便な地域における学びの機会の提供方策、分校化や校舎制への移行などについて協議することとする。</u>	○ <u>こうした検討・協議は、統合という結論ありきで協議するのではなく、地域の実情に応じ丁寧に進めることとし、その際、状況に応じて、これまで取り組んできた地域と連携した学びや学校独自の学びについての継承、交通が不便な地域における学びの機会の提供方策、分校化や校舎制への移行などについて協議することとする。</u>	推進会議意見 10